

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者へのトランス、場所移動に際し、スタッフの姿勢、バランスを保つ工夫が不十分で、ひやりはっとの報告からも、転倒等の危険性が散見される。	介助・トランスなどの勉強会を実施。	施設外部より、専門家・講師を招き、具体的な対策を検討するための勉強会を行う。	6～12ヶ月
2		入居者の方々の、より快適な生活のため、その一環として、身体拘束についての学習が求められる。	身体拘束についての勉強会を実施。	施設外部より、コンサルタント、専門家・講師を招き、具体的な対策を検討するための勉強会を行う。	12ヶ月
3		地域の幼稚園・保育園・小中学校等、部活動の生徒たち、ボランティアの方々との交流を検討する。	園児・児童たち、ボランティアの方々によるレク・慰問を依頼し、入居者や地域の方々とのコミュニケーションを図る場の提供を行う。	幼稚園・保育園・小中学校のイベント開催時期に学校・先生方、自治会の方々への説明・依頼等を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。